

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム課

担当名: 住基ネット・マイナンバー担当

内線: 2294

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	番号制度基盤整備事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	情報政策推進費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	戦略項目		分野施策	050201	ITを活用した県民生活の利便性の向上	
1 事業の概要 番号制度導入に伴い整備が必要な基盤システムである統合宛名システムを運用するとともに、庁内関連業務システムの総合運用テストへの対応支援、庁内における個人番号の適切な取扱いの周知徹底、市町村への支援、県民・事業者への制度周知を図る。 (1) 統合宛名システムの運用 $\Delta 15,770$ 千円 統合宛名システム及びサーバー機器の運用に係る契約差金発生等並びに統合宛名専用端末の調達台数減に伴う減 (2) 総合運用テスト・制度導入対応支援 $\Delta 11,516$ 千円 支援委託料の契約差金発生に伴う減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 統合宛名システムの運用 31,312千円 イ 総合運用テスト・制度導入対応支援 22,482千円 ウ 中間サーバー負担金 8,069千円 エ 特定個人情報保護評価の実施 238千円 (2) 事業計画 ア 統合宛名システムの運用保守を委託する。 イ 統合宛名専用端末等の機器を賃借する。 ウ 中間サーバーとの総合運用テストに係る対応支援や庁内研修、県民・事業者への説明会を行う。 エ 地方公共団体情報システム機構が運用する中間サーバーについて、運用・保守経費の一部を負担する。 オ 個人番号を取扱う事務の特定個人情報保護評価書について、有識者による第三者点検を実施する。 (3) 事業効果 番号制度を導入・運用することにより、社会保障や税、防災に係る事務については、申請・届出のあった住民の所得等の情報を当該システムの情報連携により他団体から取得することができるようになり、従来の照会業務と比べ、業務の効率化が見込まれる。 (4) その他 前年度からの変更事項 ア 統合宛名システムの構築が開発段階から運用段階に移行する。 イ 地方公共団体情報システム機構が運用する中間サーバーの運用・保守に係る負担金の支払が生じる。 (5) 補正予算の概要 ア 統合宛名システムの開発・運用: 統合宛名システム及びサーバー機器の運用に係る契約差金発生等並びに統合宛名専用端末の調達台数減に伴う減額。 イ 総合運用テスト・制度導入対応支援: 支援委託料の契約差金発生に伴う減額。 ウ 事務費の執行節減に伴う減額。					
2 事業主体及び負担区分 (1) (一部国10/10) (2) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 運用・保守に係る経費について普通交付税措置あり。									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500$ 千円 $\times 3.0$ 人 $=28,500$ 千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 27,286$	国庫支出金	5,690					$\Delta 32,976$	34,815
現計額	62,101							62,101	